

特殊詐欺被害と相談状況抜粋(令和8年8月中認知)

種 別	被害関係	情報提供者 被害者	手段 相手方	相手方の文言等
1 架空請求詐欺	【発生日】 2月中旬 【場所】 新居浜市	30歳代 男性	SNS ①男性名義アカウント (被害額: 現金約209万円、 電子マネー約28万円)	過去に特殊詐欺被害に遭っていた被害者は、令和8年2月中旬頃、SNSで「詐欺師からだまされたお金を全て取り返す。」旨の投稿を見つけた。 その後、投稿主である男性名義のSNSアカウント宛てに、過去の被害状況などを送信したところ、「この人は有名な詐欺師です。賠償金も請求できる。」等と返信があった。 この話を信用した被害者は、被害金の返還請求を男性名義のアカウントに依頼することとし、以後、SNSの通話機能やメッセージ機能でやり取りを繰り返した。 その結果、同年3月20日から同年7月2日にかけて、合計31回にわたり、契約金、弁護士代、贈与税等名目に金銭を要求され、その都度、指定された金融機関口座にネットバンキングで口座振替したり、電子マネーを指定アカウント宛てに送金したりして、騙し取られた。
2 ニセ警察詐欺	【発生日】 7月21日 【場所】 松山市	20歳代 男性	携帯電話 ①クレジット関連会社社員を名乗る男 ②警察官を名乗る男 ③検察官を名乗る男 (被害額:500万円)	令和8年7月21日、被害者の携帯電話にクレジット関連会社の社員を名乗る男から電話があり、「150万円の腕時計を購入しましたか。」「購入していなければ、詐欺事件の可能性あります。この後、警察から連絡があります。」などと言われ、SNSでのやり取りに誘導された。 その後、SNSのビデオ通話機能で、警察官を名乗る男から電話があり、警察手帳のようなものを見せられた上で、「マネーロンダリング事件の被疑者を調べたところ、被疑者があなた名義の銀行口座を持っていた。」「あなたの銀行口座にある資金を調査する必要があるので、指定する口座に全額振り込んでください。」「秘匿捜査なので、部外との連絡は絶ってください。」などと言われ、この話を信用した被害者は、相手の指示に従い、周囲との連絡を絶っていた。 さらに、検察官を名乗る男から、連日にわたってSNSの通話機能で連絡があり、「調査のため、ATMで指定する口座に振込みをしてください。」などと言われ、これを信用した被害者は、同月22日から同月27日までの間、10回にわたり、松山市内の金融機関やコンビニエンスストアに設置されたATMで、指定された口座に合計500万円を振り込み、それぞれだまし取られた。
3 還付金詐欺	【発生日】 8月17日 【場所】 伊予市	60歳代 女性	固定電話 市役所職員を名乗る男 (被害額:約200万円)	令和8年8月17日、被害者方の固定電話に、市役所職員を名乗る男から電話があり、「保険料の払い戻しがあります。」「市役所の誤りですので還付します。」と言われ、これを信用した被害者は、還付金を振り込んでもらう金融機関を男に伝えた。 その後、金融機関の職員を名乗る男から被害者方の固定電話に電話があり、「還付手続きはコンビニのATMでできます。」「手続きには番号が必要で、ATMに着いた時に伝えます。」と言われたことから、被害者はコンビニエンスストアに行った。 コンビニエンスストアに到着後、指定された「070」から始まる電話番号に架電し、電話に出た乙男と通話しながら、その指示どおりにATMを操作したところ、指定された口座に約200万円が振り込まれることとなり、騙し取られた。
4 警察官かたり	【発生日】 8月20日 【場所】 松山市	60歳代 男性	携帯電話 県外の警察官を名乗る男	「〇〇署(県外)から捜査協力の要請を受けて連絡しました。明日までに、〇〇署(県外)へ身分証をもってきてください。」
5 郵便局員かたり ↓ 警察官かたり	【発生日】 8月26日 【場所】 松山市	60歳代 男性	携帯電話 ①郵便局員を名乗る男 ②県外の警察官を名乗る男	①「あなたの個人情報流出しており、あなた名義のキャッシュカードが作られている。警察に電話をかける。」 ②「あなたは犯罪に関与しており拘束する必要がある。明日迎えに行くので、4日分の服を用意しておけ。」